

## 【研究概要】

RNA m<sup>6</sup>A 酵素を標的とする新規阻害剤の開発

(生命機能研究科・がん病理学・西村耕太郎)

m<sup>6</sup>A 修飾は RNA 機能制御に重要だが、造血や腫瘍形成における分子機構は不明な点が多い。本研究では、造血幹細胞および白血病幹細胞における m<sup>6</sup>A 修飾の機能を解明し、がん治療標的としての妥当性を検証する。さらにノックアウトマウスや細胞株を用いて、m<sup>6</sup>A 修飾の生理機能や阻害剤候補の有効性を解析する。